

バスタブ設置用脚の取付け

セット内容

施工前に必ず下記の内容をご確認ください。

- | | |
|----------------------------------|------|
| ①設置用脚 | 4セット |
| ②防振パッド用ベース
防振パッド | |
| ③スタッドボルト
蝶ナット
ナット
ワッシャー | 2セット |

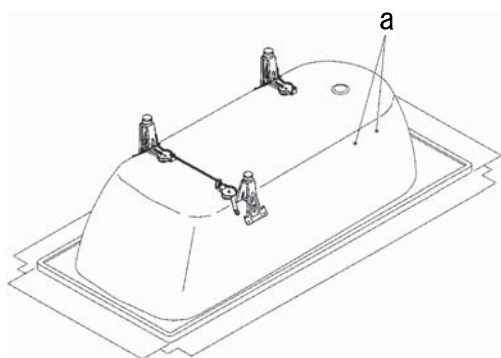
外箱写真



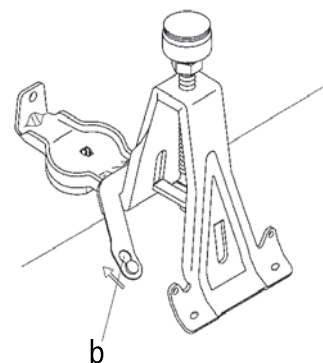
内容写真



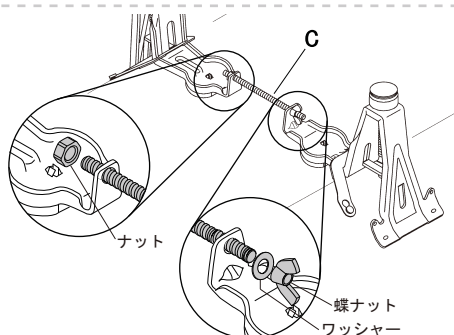
取付方法



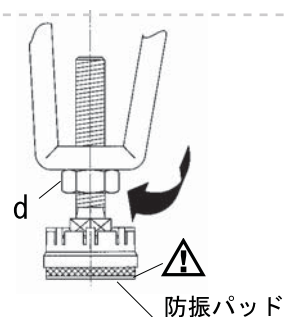
- ① 取付の際、浴槽にキズがつかないように作業してください。



- ② 図①の突起部(a)に設置用脚の穴(b)をはめ込み矢印方向にスライドさせます。



- ③ 左右の脚にスタッドボルト(c)を通し、ナットと蝶ナットで締付けます。
 ※締付けの際、工具は絶対に使用しないでください。
 手締めでしっかりと締付けることで十分な強度を得ることができます。
 工具を使用しますと、部品が破損する場合があります。



- ④ 各脚底部に防振パッドを取付けてください。各脚をレベル調整し、ロックナット(d)で固定してください。

※工具などで防錆塗装部分にキズをつけないでください。鉄部が露出し錆が発生します。

排水金具の取付け

セット内容

施工前に必ず下記の内容をご確認ください。

外箱写真

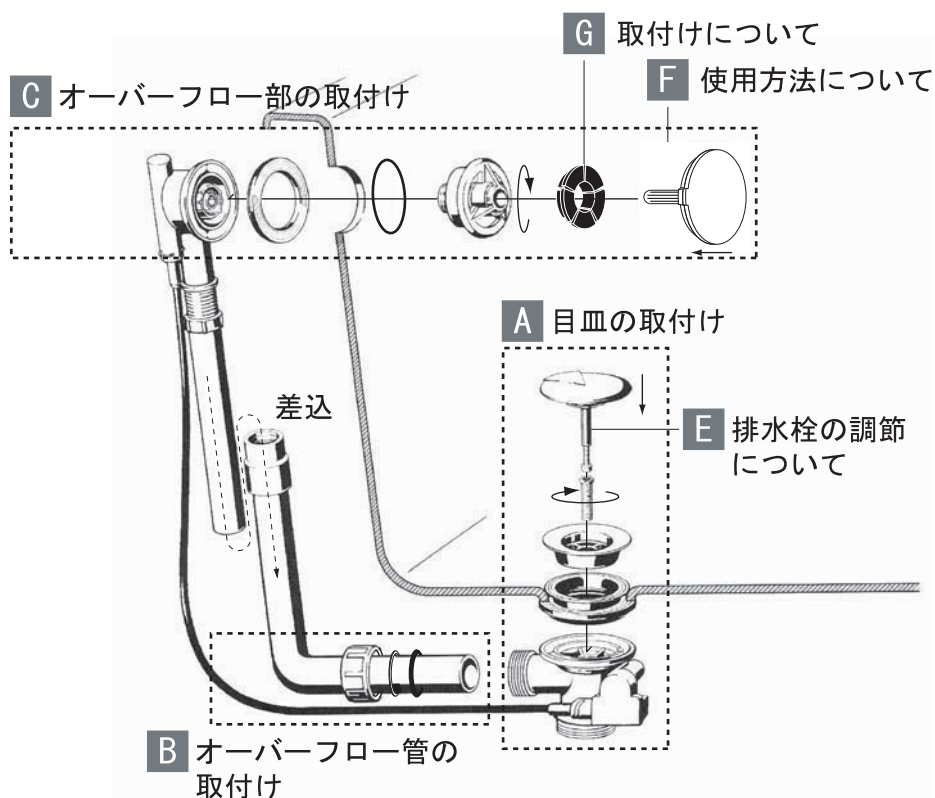


内容写真



- ① 排水部品本体
- ② パッキン
- ③ Oリング
- ④ オーバーフローフランジ部
- ⑤ オーバーフロー穴埋めゴム栓 (5片で1セット)
- ⑥ 操作ハンドル
- ⑦ オーバーフロー管
- ⑧ ジョイントゴム
- ⑨ 袋ナット
- ⑩ スリップワッシャー
- ⑪ テーパーパッキン
- ⑫ 排水栓
- ⑬ 目皿取付ボルト
- ⑭ 目皿
- ⑮ 排水口用U型パッキン

全体図

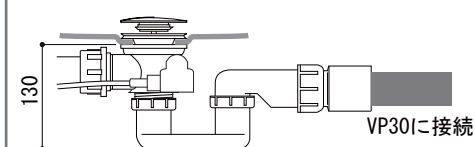


追焚付給湯器対応モデルについて→ **D**

オプション品

※別売品です。必要な場合、注文時にご指示ください。

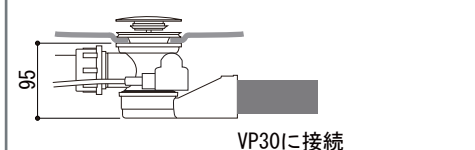
■バス用トラップ



- ・塩ビ管30に接続できます。
- ・塩ビパイプ用の接着材を使ってVP30と接着してください。

■横引きエルボ

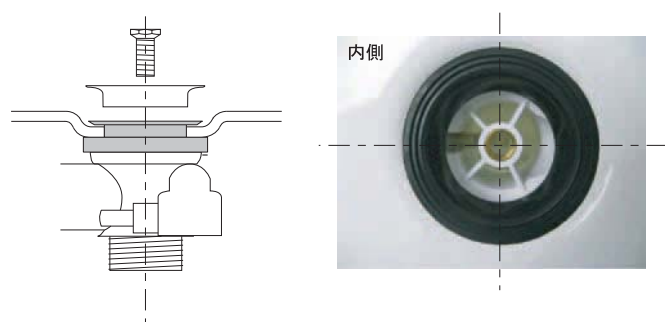
(トラップ機能はありません。)



- ・排水部品の端部ネジ(G 1.1/2")にシール材を巻きつけエルボを接続してください。
- ・塩ビパイプ用の接着材を使ってVP30と接着してください。

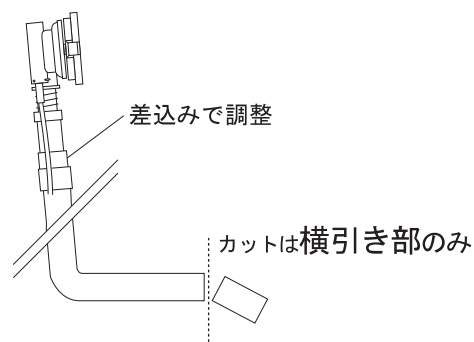
排水金具の取付け

A 目皿の取付け



- ①「排水口用U型パッキン」を「排水部品本体」に取付けます。
- ②「排水口用U型パッキン」をバスタブ裏側から排水口に差込みます。
※パッキンの向きに注意してください。
- ③内側から「目皿取付ボルト」で「目皿」を締めます。
※バスタブ排水口の芯と目皿の芯を合わせて取付けてください。

B オーバーフロー管の取付け

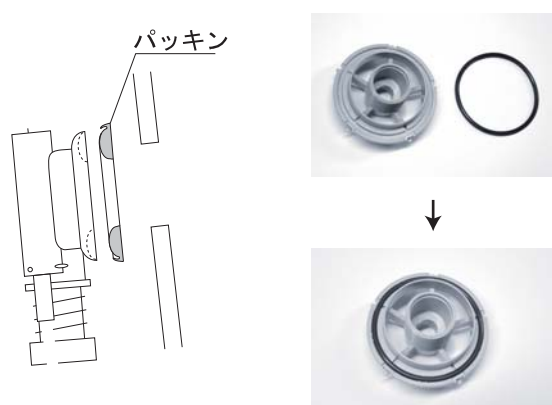


- ①オーバーフロー管がバスタブ側面に沿うよう、「オーバーフロー管」の横引き部のみをカットし調節します。(写真①参照)

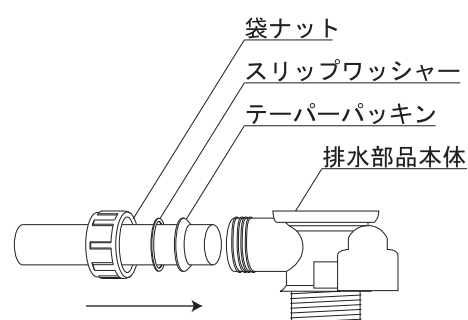
写真①



C オーバーフロー部の取付け



- ①「パッキン」を「排水部品本体」に、「Oリング」を「オーバーフローフランジ部」に、それぞれはめ込みます。
- ②バスタブ内側から「オーバーフローフランジ部」を「排水部品本体」に締めます。
- ③締め込みの際、「フランジ」の溝に「Oリング」が緩みなく納まっているか注意して締込んでください。



- ②「テーパーパーパッキン」、「スリップワッシャー」を通し、「袋ナット」を締めます。

※順番、向きに注意してください。

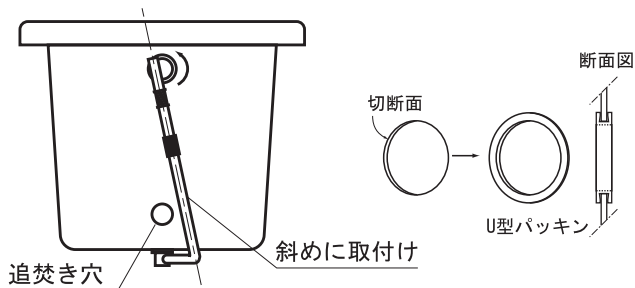
※排水金具と建築側の排水管は直接接続する、直接排水方式としてください。

※排水金具取付け後、漏水がないか必ず確認してください。

※埋め込み施工の場合、万一の点検修理に備え、排水金具付近に点検口を設けるか、設置後の浴槽取外しが可能な施工方法で設置してください。

排水金具の取付け

D 追焚付給湯器対応モデルについて

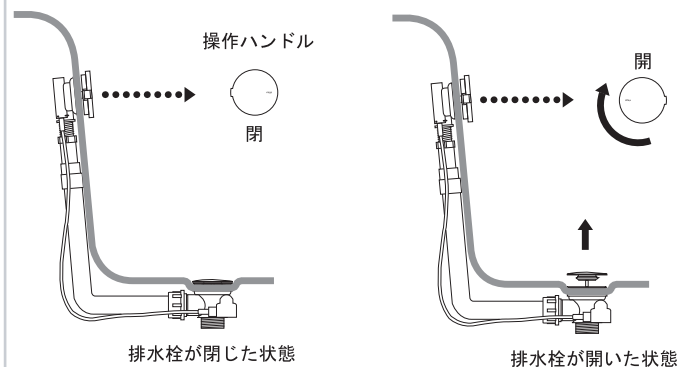


- ・排水部品を斜めに取付けることにより、循環金具に干渉せず取付けることが可能です。
- ・追焚付給湯器対応モデルに付属している「U型パッキン」は循環金具に付属のパッキンと併せてご使用ください。

追焚付給湯器用循環金具取付穴を現場加工する場合

- ・ホーロー用ホルソー(φ53)で穴をあけ、**切断面を確実に防錆処理**し(ローバル等、亜鉛メッキ塗料)「U型パッキン」(別売品)を取付けてください。
- ・確実に防錆処理を施しませんともらい錆やホーロー層の剥離等重大な不具合の原因となります。
- ・付属の「オーバーフロー穴埋めゴム栓」を使用する場合も「オーバーフロー管」は必ず取付けてください。

F 操作ハンドルの使用方法について

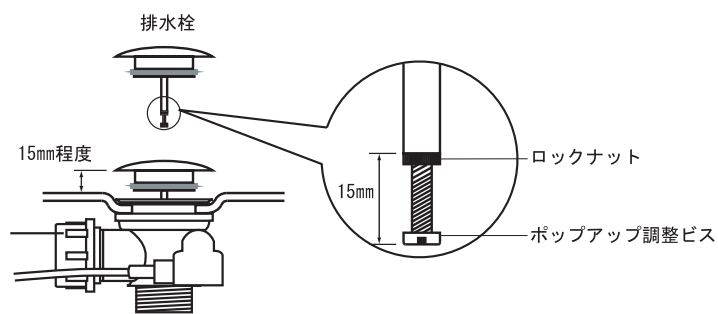


- ・「操作ハンドル」はまっすぐ奥までしっかりと差込みます。
- ・**可動範囲は最大180°以内**ですので、それ以上の無理なハンドル操作は行わないでください。

※「操作ハンドル」は大きな負荷が掛かった場合、ハンドル自体が破損することにより内部部品の破損を防ぐ構造となっておりますのでご注意ください

※浴槽周りの施工を行なう前に排水金具の動作確認を行なってください。

E 排水栓の調節について



- ・「調整ビス」は**15ミリ**に設定して出荷しております。
- ・操作ハンドルを回し適切に開閉しない場合、下記手順で調整してください。
「ロックナット」を緩め「ポップアップ調整ビス」の長さを調整し、最後に「ロックナット」を閉めて固定してください。
- ※「調整ビス」の突出し量は15ミリを目安とし、20ミリ以内の範囲で調整してください。
- ※排水栓を踏みつけたまま操作ハンドルを回すと、器具が破損する場合がありますので、ご注意ください。
- ※ポップアップ式の排水金具は構造上、若干水が抜けますが、ご使用に不便を感じるほどではありません。

G オーバーフロー穴埋めゴム栓取付けについて



このゴム栓(5分割)はオーバーフローフランジ部に差込むことにより、オーバーフローさせず、より深い水位を確保できます。ゴムに少量の石鹼水を塗布し、確実に差込んでください。

一般的な在来浴室など洗い場のある場合、この**ゴム栓を取付けてください。**

ただし、オーバーフローをふさぎますとバスタブから湯水が溢れる場合があります。ホテルや洗い場のない浴室、フリースタANDINGで設置する場合など、オーバーフローが必要な場合は取付けないでください。

取付けない場合はユーザー様に必ずお渡しください。